

スズメの巣立ち



6月24日の放課後、附属中の生徒3名が、生物準備室にやってきた。「スズメのヒナがいるんですけど、どうしたらいいですか？」急いで現場に行ってみた。管理棟と教室棟をつなぐコンクリート通路に一羽のヒナが動いていた。確かに、スズメのヒナである。しかし、想像していたよりも育っていて、元気に動き回っている。おそらく、**巣立ち直前のヒナ**で、**飛ぶ練習**をしていたのだろう。しばらくすると、姿が見えなくなってしまった。

「日本野鳥の会」のHPを見てみると、今年も「**ヒナを拾わないで！！キャンペーン**」が続けられている。飛ぶ練習中の保護の必要のない雛を、保護センターや動物病院、動物園などへ持ち込む人が非常に多いためと言われている。

ところで、あのスズメのヒナは無事に巣立つことができたのだろうか。後日、日本野鳥の会の知り合いに、このことを聞いてみると、こんな答えが返ってきた。「近くにスズメの巣があったのかもしれませんが、心配かもしれませんが、**きょうまく巣立ったと信じましょう。**」この言葉に自分はずごく納得した。



↑「日本野鳥の会」のHPより